



「府民の会」
代表者会議

知事が代われれば、京都が変わる

2・3月がガンバリ時! 新署名とチラシの活用を!



開会のあいさつをする森下房子共同代表



■2月5日に開催された「京都に米軍基地いらない府民の会」代表者会議

2月5日「京都に米軍基地いらない府民の会」は、代表者会議を開催し、各団体・個人から27名が参加しました。戸田昌基事務局長が、①京都府、京丹後市が米軍基地の「受入協力」表明以降、私たちの運動がどういう到達点にあるのか、②この間、住民の「安全・安心」の不安を置き去りにしたまま、地権者工作が執拗に行われたこと、③今後の運動課題として、論点の明確化とともに京都の米軍基地問題をいっそう知事選挙での争点化として運動を強めることなど報告・提案しました。会議では、冒頭、森下総子・府民の会共同代表（新婦人京都府本部会長）が「沖縄で基地問題を担当していた防衛省の幹部が近畿に着任し、京都の米軍基地を担当している。知事が変われば京都は変わる。3月4日のシンポジウムの成功と合わせ、京都を変えよう」と開会のあいさつ。4名の方から発言があり、戸田事務局長のまとめの後、閉会しました。

戸田事務局長の報告と提案(大要)

【前代表者会議（8月29日）以降の主な活動】



■9・11京丹後市役所前街頭演説とデモ(200名)／9・13京都府緊急要請(知事・市長と防衛大臣の会談)／9・17府庁前街頭宣伝とデモ(150名)／9・19府庁前知事の協力表明緊急抗議行動(50名)／10・23米軍基地設置協力の撤回と安全・安心を求める要請書提出とFAX要請行動／11・29米軍基地設置を問う学習集会・伊波洋一氏(250名)／12・15「平和の叫び&人間の鎖」京丹後行動(1200名)／1・22京都府交渉

■街頭宣伝は、年末まで実施／署名：約3万9千筆／ニュースは、20号まで発行／見解・声明・要請書など

【運動の現局面と今後の課題】

- ① 防衛省は、基地予定地の地権者に破格の賃借料を提示し年末で契約完了するも、住民の反発増幅。
- ② 米軍提供用地分は年度末での契約更新問題。自衛隊予定地は説明会・用地買収を3月末予定。
- ③ 地権者以外の地元住民は、「安全・安心」問題を含

め、依然として置き去りの状況。

- ④ 京都府知事は、京丹後市長との協議を経ての基地設置協力表明後も、「安全・安心」問題は依然としてクリアできず。
- ⑤ 府民の会の「京都府に対する7点の確認・要請事項」での、対府交渉継続と府民への広報を。
- ⑥ 米軍基地建設を憂う宇川有志の会による「基地対策室への質問事項」での交渉。
- ⑦ 米軍による「日本環境管理基準」にもとづく環境影響評価実施とその公表課題での追求。

■こうしたもて、「核戦争の最前線の目」であり、核兵器廃絶の課題とも関連させ、署名運動と大量宣伝で京都府知事選挙での争点に押し上げることが重要となっている。

【論点と今後のとりくみ】

1. 府民の会の見解・声明を論点に今後の運動で押し出す
 - ① 宇川有志の会の質問事項も合わせて宣伝し、交渉に応じさせる。

② 日米環境管理基準(JEGS)を米軍に実施させ、TPY-2レーダー等に関わる諸データ、車力での諸データや諸手続き・問題点を事前に明らかにすることを求める。

2. 「日本の防衛のため」との論点や「日米安保のため」との基地容認論を打破する。

- ① アメリカ本土防衛(米核戦争戦略)の最前基地としての米軍専用レーダー基地の位置づけ。
- ② 日本の防衛のためではない。
- ③ 日本のミサイル防衛システムは、政府見解でも米国に飛翔するミサイルを迎撃できない。(集団的自衛権は憲法上許されていない)

3. 北朝鮮の脅威を口実にした米軍基地設置は、問題の解決にならない

- ① レーダーを設置しても、北朝鮮の核開発・ミサイル開発を終わらせることはできない。
- ② 6カ国協議をはじめ、外交と国際政治によって解決をはかることが重要(イランの例)

4. 今回の京丹後市米軍基地設置の問題について住民の団結を特に重視するー「安全・安心」課題

- ① 米軍への賃貸提供用地(袖志地区)・自衛隊買収予定地(尾和地区)と宇川全地域住民

【今後のとりくみについて】

- ① 「京都への米軍基地の設置を問うシンポジウム」
3月4日 キャンパスプラザ京都
- ② 京都府民を対象とする大量宣伝ー新しいチラシの運用
- ③ 署名運動を府民的レベルで展開するー2月末集約と3月末集約を強めて、府へ提出
- ④ 政府への署名提出と交渉を3月上旬までに企画するー日本環境管理基準問題での追求、米本土防衛・核戦争最前線基地問題

⑤ 学習運動を強め、米軍レーダー基地問題の本質を明らかにする

⑥ 多面的な運動を広げる工夫ー京都府知事選挙への「平和友好連絡会」提唱のアピールも

⑦ 広報課題・運動を広げることと、運動継続のための資金確保の課題

代表者会議での発言(要旨)

◆日本共産党府会議員・かみね 史朗さん

昨日(4日)、総務調整課長が12月13日の質問に対する回答を説明した。パラポノアンテナの撤去、ボーリング調査による穴文殊への影響、軍人・軍属の宿舍、「安全・安心」問題など、「知らなかった」や「わからない」「求めているが..」と説明になっていない。2月議会が7日から始まる。山田知事は、「日米安保、日本の防衛のため」というが、「核戦争の最前線基地」であることを隠している。

◆京都原水協・小杉 功さん

米軍基地撤回の近道は、知事選で知事を変えることだ。共同アピールを広め、ある時点で発表したい。

◆京都自治労連委員長・池田 豊さん

過疎化がすすむ土地に基地をひっぱる手法だ。京都府の中で京都市が占める位置が大きいことから、運動の組み立てに工夫が必要だ。また、キャラバン、学習会の強化が必要。ローカル紙をはじめ、マスコミ対策も重要だ。

◆個人・小松 千代子さん

府内自治体対策として、キャラバンをとりくんではどうか。

■戸田事務局長のまとめ

運動は理解していただけたと思う。今回作ったチラシと3、4のシンポジウムをにすすめたい。自衛隊基地は、反対運動で撤退することはあるが、名護市の事例からも、いったん承認されれば、アメリカは決して離さない。2・3月の頑張りがポイント、全構成員にチラシと署名の徹底を。

京都への米軍基地設置を問うシンポジウム

3月4日(火)

午後6時30分開会

キャンパスプラザ京都 5階第1講義室



特別報告

キャサリン・ジェーン・フィッシャーさん

パネリスト

藤岡 伸・立命館大学教授/竹下 岳・赤旗記者/寺岡 教子・電磁波環境関西の会幹事
コーディネーター・戸田 昌基

あいさつ 尾崎 望

2月末・3月末に署名集約します

全構成員に急いで **チラシと新署名を強めよう!!**
・チラシでの宣伝・活用の希望は、事務局まで連絡を